

ちいき新聞

2019年10月25日号

佐倉西版

発行部数43,325部

VOL.1988 全55版

総発行部数2,071,909部

今週の見どころ

- ☆第3回臼井八景の祭典
- ☆アナタの知らないお店特集
- ☆三宮麻由子さん講演会
- ☆私のちいき愛 横山剣さん

王子台動物病院

☎043-461-6001

月～土 8:00～12:00/14:00～18:00
日曜日 8:00～12:00
休診日 木曜・祝日・日曜午後

Pet Hospital 王子台2-2-7(水道道路沿い)

ちいき新聞へのお問い合わせは ☎0120-152-337 ※音声ガイドに従ってご利用をお話しくささい 受付/平日10:00～18:00 ※土日祝日は休み sakura-nishi@chiikinews.co.jp



次のチームへ一緒に走ってタスキをつなぐ



志津図書館提供の認知症情報コーナー(昨年)



「ロバ隊長」は認知症サポーターキャラバンのマスコット

7月から11月にかけて、北海道から九州まで「RUN伴」イベントが日本列島縦断中。千葉県内では11月2日、23市町村で二斉に行われる。佐倉市は西志津地区で開催。会場は、志津図書館前の「萌の広場」とスポーツ等多目的広場周辺

1・2kmの周回コースだ。

参加予定者は、認知症の当事者、家族、医療・福祉関係者、地元ランナーなどさまざま。走っても、歩いても、車いすでも、チームで手をつないでも、スタンプラリーをしながらでも、コースの進み方は自由。午後1時30分のスタートから午後4時の最終走者ゴールまで、周回コ

ース上で前のチームから次のチームへと「タスキ」をつなぐ。

「認知症支援のイメージカラー、オレンジ色のTシャツを着たランナーを見たら、足を止めてみて」と実行委員の近藤さん。親子連れ歓迎の「萌の広場」では、綿あめ・コーヒー、フライドチキン、新鮮野菜、冷凍食品の販売や無料試食会などのコーナーが設けられる。昨年盛況だった認知症O×クイズやスタンプラリーなどの出し物も準備万端。福祉機器展では気軽に

認知症の人も安心して暮らせる地域へ

オレンジ色のTシャツが秋風に翻る

西志津がオレンジに染まる!

RUN伴ちば2019 in 佐倉

RUN伴(ランとも)は、今まで認知症の人と接点なかった地域住民と、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒に「タスキ」をつなぎ走るイベントだ。

主催/RUN伴2019ちば千葉県実行委員会
共催/佐倉市 後援/佐倉市社会福祉協議会



「今年も皆さまの来場をお待ちしています!」(写真は昨年の参加者)

5人に1人が認知症高齢者になる!?

2012年に厚生省が発表した認知症高齢者数は462万人。実に65歳以上の高齢者の約7人に1人だ。さらに25年には約5人に1人へと増加する見通し。認知症はもう人ごとではない。近藤さんは「認知症当事者など、同じ地域に住む皆さまがみな参加しています。喜びや達成感を共有して、認知症の人も地域で共に暮らす大切な隣人であることを実感できたい」と話す。(瑞希)

日時 11月2日(土) 荒天中止
開会式…午後1時～、走者スタート…午後1時30分～

会場 萌の広場(佐倉市西志津4-1)周辺

駐車場 西志津スポーツ等多目的広場

問い合わせ ☎043(484)6391 社会福祉法人愛光(あいこう)